



神様が  
相撲を  
とる町  
よしとみ



# 放生会

## HOUJOE



ほうじょうえ

くわしおのまい かみずもう

### 放生会(町指定・無形民俗)と細男舞 神相撲(国重文・無形民俗)

4年に1度、閏年の8月上旬に奉納される

うるうどし

養老3年(719年)に大隅・日向の隼人反乱の時に戦場において伎楽を奏したのが起源とされます。天平16年(744年)隼人族の靈を慰めるため宇佐神宮が中心となり、宇佐の和闇海上において放生会を執行、その時、美女・美童の木像によって古を表わす細男伎楽を奏し、神相撲を演じて、それを例とすることとなりました。この細男舞・神相撲を奏する神像のことを傀儡子(繰り人形・国重文)といいます。また宇佐八幡宮が中心となり旧8月15日和闇の浮殿で執行した放生会に傀儡子船を出していたと伝えられます。現在は八幡古表神社単独で細男舞神相撲の奉納を継承し海上神事を復活させ、4年に1度、閏年の8月6日前後の潮時をみて日取りを決めて執り行っています。当日は、陸上で“にな貝”を流す放生会の神事を執行、神相撲船上で傀儡子の舞と神相撲が奉納されます。また、八幡古表神社の神舞殿における奉納は日没後約1時間半かけて演じられます。細男舞・神相撲は素朴な動きの中に古い傀儡子まわしの形態をよくとどめ、人形芝居の源流を知る上で他に例のない貴重なものです。





### めがみきぎゅうぞう 女神騎牛像(国重文・有形 彫刻)

社伝によると、神功皇后の御像といわれ、三韓出兵の時の川を渡る姿であると伝えられています。神牛の口綱をとっているのが、妹神、虚空津姫像です。制作年代は鎌倉時代末頃と考えられ、その豊かな表情、色彩の鮮やかさは、実に写実的です。女神が黒牛の背にまたがり手綱を操る姿をしています。4年に1度の閏年、放生会の際に、細男舞・神相撲の神々の御神像(国重文・有形民俗)とともに、氏子・崇拜者の前に御姿を見せます。

そらつひめのみこと

うるうし

# 細男舞 kuwashionomai kamizumou 神相撲



「細男舞・神相撲」は、東西10体ずつの神々により、4番に分かれて舞と歌が奏されます。まず2体ずつで舞い、次いで1体ずつで御神歌、次いで3体ずつで舞います。この後が神相撲です。東西11体ずつの神々によって逐次、勝ち抜き相撲。次いで東・5体の神々と西・住吉神の飛び掛かり相撲。次いで東・11体と西・住吉神の押し合い相撲。最後に東西4体ずつの女神によるハ乙女舞が奏されて終わります。「細男舞・神相撲」は鎌倉時代に始まり、この貴重な文化財を伝え続けるために「八幡古表神社細男舞・神相撲保存会」により伝承活動が行われています。



## 傀儡子(国重文・有形民俗)

大部分が鎌倉時代の作で、宇佐神宮の放生会において奉納する細男舞・神相撲のために作られたものです。

御舞人形20体、相撲人形22体、行司人形1体、四本柱人形4体の計47体があり、大きさは、大小様々です。また、長い歴史の中で傷みがかなり進み、彩色のあせた中に、歴史の重みを感じます。



## おいろかし 乾衣祭(無形民俗)

毎年8月6日、7日に八幡古表神社で行われる神衣の虫干し行事のこと「おいろかし」と呼ばれています。神社に伝わる細男舞の御神像に着せる着物を1年に1度、土用干しする行事が祭りとなったもので、神衣千枚ほどが社殿に虫干しされます。神衣の奉納は現在も続き、氏子崇敬者が何事かの時に祈願や感謝の気持ちをこめて神々に捧げるのです。また、奉納された神衣には、中津藩の歴代藩主の物もあり、祭りは多くの人出でにぎわいます。



# 神 樂

KAGURA

宇佐神宮の近郊に位置する築上郡は、神楽の盛んな地区です。人々は、五穀豊穣を感謝し、天下泰平、無病息災、国家長久を祈願することを目的とし、人事を尽くして及ばざる最後の手段として、神の前に一念を捧げて神の心をやわらげ、或いは感謝の真心を捧げて神楽を奉納したと言われています。

つちやかぐら

## 土屋神樂

開催日10月14日

開催場所 壺神社 土屋壺神社秋季大祭

**【いわれ】** 土屋神楽には、次のような言い伝えがあります。「土屋の村人が雨乞いのため現在の中津市にある薦八幡神社にお参りした帰りに休憩をとり、囃子を演奏していたところ、とても上手な囃子なので見物人が山を築きました。このことを聞いた下毛郡(現在の中津市あたり)の神官は、土屋の人々に神楽を教えました。」

**【成り立ち】** 豊前地方でもっとも古い伝統を持つ神楽のひとつで、一説では、寛政年間(1789~1800)にはすでに奉納されていたともいわれています。古来より伝承された神楽でしたが、第二次大戦後もなく伝承者が不足し、休止状態が続きました。しかし平成7年、再興を望む地元の熱意が実り、「土屋神楽講」が復活し、後継者への伝承活動も始められました。

**【特徴】** 主な演目は、「綱駄仙」「大蛇退治」「蛭子神楽」「劍舞」などで昔ながらのわらを用いるなど情緒のある勇壮な舞で、長い歴史を持つ伝承芸能を今に伝えています。

**【現在の活動】** 現在壺神社の秋祭などで奉納され、地域の方々にも大変親しまれています。



よしとみかぐら

## 吉富神楽

**【成り立ち】** 吉富神楽は、神楽の楽しさを地域の皆さんに伝えようと、神楽好きの若者が中心となって平成11年10月に結成しました。

**【特徴】** 主な演目は「花神楽」「御先」「大蛇退治」「岩戸開き」などで、心がけているのは激しく荒々しいダイナミックな動きです。地域の伝統文化である神楽の楽しさを精一杯表現しています。

**【現在の活動】** 毎年10月から12月に行われる吉富町や近隣地区の神社の秋祭で神楽を奉納するなど、着実な活動を続けています。



## 吉富キッズクラブ「神楽教室」

**【成り立ち】** 平成15年度から、吉富キッズクラブの伝統芸能体験教室として「神楽教室」が開設されました。指導者は、土屋神楽講のみなさんです。

**【現在の活動】** 每月2回(第2、4土曜日13時～15時)、老人福祉センターで行っています。また、年度末には、吉富キッズクラブ育成連絡協議会が主催する「キッズフェスティバルin吉富」にて活動発表を行っています。

# 天仲寺

Tenchuji Park

てんちゅうじこうえん

## 天仲寺公園

町のほぼ中心に位置する小高い丘にあって、頂からの眺めは、求菩提山から中津市街地を眼下に望むことが出来る風光明媚な地で、四季を通じて、近郊の人々に親しまれています。また、この地は、幕末の剣聖とうたわれた、島田虎之助（幕末から明治の政治家勝海舟の師）が青年時代、毎晩この山に登り、一人剣法の修練と工夫に精進した地でもあり、他にも横穴式古墳や中津藩主（小笠原公）三代の墳墓（町指定・史跡）もあり見るべきものが多くあります。



▲小笠原長次の墓



▲小笠原長美の墓



▲小笠原長円の墓

# 公園



▲剣心一致の碑

しまだとらのすけ

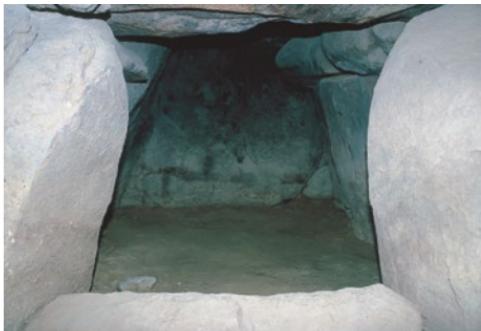
島田虎之助

島田虎之助は、文化11年(1814年)に中津、島田の里で中津藩士の四男として生まれ幼年期に山川東林から漢学を、そして後に博多の名僧仙崖和尚に禪を学びました。虎之助は13歳から17歳にかけての青年時代を毎晩、山国川を渡って天仲寺山に登り、剣法の修練と工夫に精進したといわれます。

虎之助の教えは、「剣は心なり、心正しからざれば、剣又正しからず、剣を学ばんと欲すれば、先ず心より学ぶべし」という正しい心をもって剣を修行するといふいわゆる人づくりの指導であったといわれます。



▲天仲寺公園



## 天仲寺古墳(町指定・史跡)

複室の横穴式石室で、二重の周溝をもつ三段築造の円墳。石室は全長9.7mで巨石を用い、年代は6世紀半頃と推定され、規模としては豊前・築上地域最大のものです。また町内には榆生山古墳、広運寺古墳などがあります。



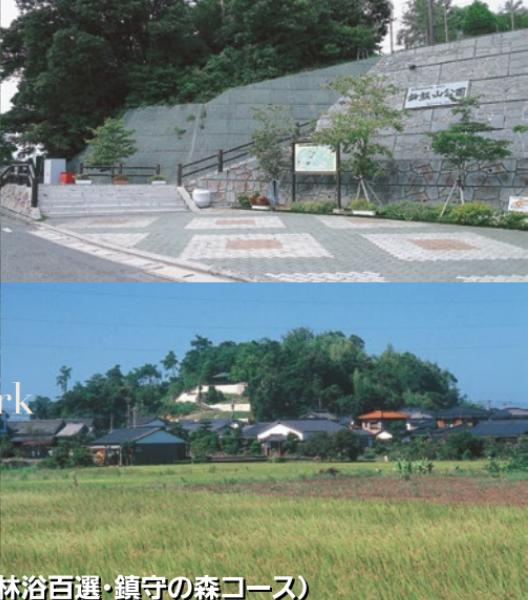
### 榆生山古墳(町指定・史跡)

「岡家の考古遺物」(町指定・有形文化財)  
吉富フォーユー会館

# 鈴熊山公園



Suzukumayama Park



すずくまやまこうえん

鈴熊山公園(ふくおか森林浴百選・鎮守の森コース)

山頂付近の松林、周辺の竹林・雑木林など、四季の変化に富み、自然の美しさと山頂に建立されています。鈴熊寺の歴史と文化とがよく調和しています。また、境内には、巨石に刻まれた涅槃石や十一面觀音菩薩坐像もあり訪れる人も少なくありません。



じゅういちめんかんのんぼさつぞう

十一面觀音菩薩坐像(町指定・有形 彫刻)

十一面觀音菩薩坐像は六觀音の1つで、六道の苦しみの内、「修羅道」で救済する菩薩である。衣文や顔貌の表現には、中国の宋風彫刻移入以後の特徴があり、その像容から南北朝期から室町時代の作とみられ、檜材の寄木造りで、胸飾りのある、つり合いのとれた坐像です。

やくしによらいざぞう

## 薬師如来坐像(国重文化・有形彫刻)

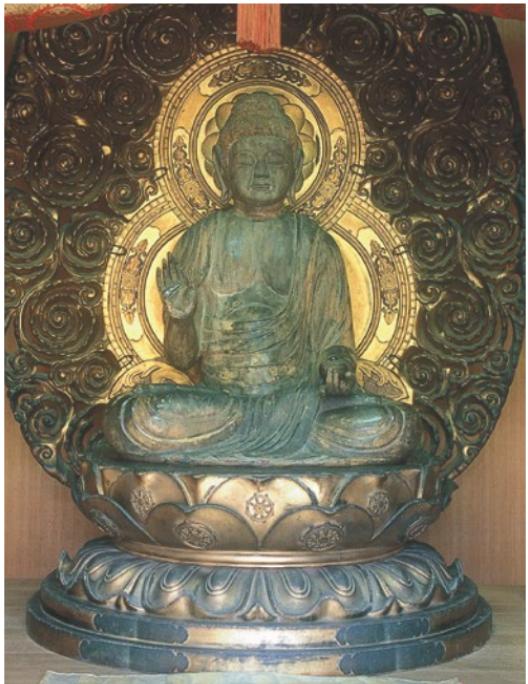
毎月8日に公開

金華山鈴熊寺の本尊で、寺伝によると天平年間、豊前の国を中心に悪疫が流行した際、聖武天皇の勅命によって、僧行基が鈴熊山に来り、薬師如来像の尊像を彫刻し、疫病平癒の祈願をして悪疫を退散させたといわれています。後に1堂を建て尊像を安置しました。

その後、天正年間にになって、キリスト教大名大友宗麟の兵火にかかって灰燼に帰し、本尊は行方不明になりましたが、元和の頃、近くの別府の田の中から発見され、鈴熊寺に移されました。寛永9年、中津城主小笠原公により本堂が再建され、近郷近在の崇拜あつく今日では遠来の参拝者も多いです。



鈴熊寺



ねほんせき

## 涅槃石(町指定・史跡)

鈴熊山の北方山腹にあり、高さ2m、横3mの巨石の中央に、釈迦が頭を北にして横たえ、その周囲に悲しい表情をした弟子たちが釈迦を見守っている様子が刻まれ、右上方に釈迦の母、摩耶夫人が侍女を従え雲に乗って、釈迦を救うための薬を持って下さって来ていると思われる釈迦涅槃の像が浮彫りされています。



▲どんぐり広場

# 祭り・イベント

Festival & Event

1月

- 消防出初式
- 成人式
- 子ども会たこあげ大会  
(吉富町子ども会育成連絡協議会)
- どんど焼き



3月

- キッズフェスティバルin吉富  
(吉富キッズクラブ育成連絡協議会)



4月

- 稻荷祭



5月

- 小笠原長次公墓前祭(吉富歴史文化の会)
- よしとみ70kmウォーク  
(吉富町体育協会)
- よしとみワッショイ春まつり  
(よしとみワッショイ春まつり実行委員会)



7月

- 子ども会玉入れ大会  
(吉富町子ども会育成連絡協議会)

8月

- 細男舞・神相撲(閏年に開催) (八幡古表神社)
- 八幡古表神社子どもすもう大会  
(八幡古表神社)
- 八幡古表神社の乾衣祭 (八幡古表神社)
- 吉富夏祭り (町内企業による開催)
- 吉富町民親善野球大会(吉富町体育協会)



乾衣祭



島田虎之助少年剣道大会



古表神社の御神幸



献水神事



文化祭



文化祭

## 9月

- 島田虎之助顕彰少年剣道形演武大会  
(2年に1回・同大会実行委員会)

- 敬老会

- 古表神社の御神幸(ハ幡古表神社)

## 10月

- 壺神社の献水神事と水占い(壺神社)

- 町民ゴルフ大会(吉富町体育協会)

- 吉富町文化祭(吉富町文化協会)

## 11月

- 子ども会カルタ大会

- (吉富町子ども会育成連絡協議会)

## 12月

- バドミントン大会(吉富町体育協会)

- 卓球大会(体育協会)



よしひけ70km ウォーク

# 町が誇る山海の幸は、大自然からのグルメな贈り物

## 豊前一粒かき

## Delicious Foods



アサリ、ガザミ



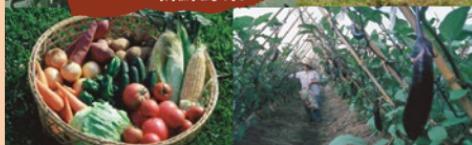
ヨシエビ、クルマエビ



吉富町は温暖な気候、佐井川、山国川の豊かな水など、恵まれた自然環境で行われる農業も盛んで、米や麦はもちろん、フレッシュな野菜なども豊富に栽培されています。肥よくな大地に育つ野菜は、瑞々しく、素材の持つ甘みもたっぷりです。



新鮮野菜



特に豊前海はカキの産地として知られ、1998年にネーミングを統一しブランド化を果たしました。海の栄養をたっぷり吸収して育った豊前海一粒かきは大粒で身入りがよく、ぷりっとした食感と、こくのある味わい、つるんとしたのど越しで、味も香りも一級品。吉富町を代表する特産品です。



青海苔

海水と淡水が混ざり合った海に近い山国川河口付近が最適で、1・2月に摘みとりの最盛期を迎えます。冷たい川の中に腰までつかり、がんぜきでかき集められた青海苔は、風のない日に天日で干されます。遠火であぶって手でもんで粉にし、焼きそばやお好み焼き、たこ焼きなどに使われています。

# Yoshitomi Guidance Map

周防灘

吉富漁港

豊前市

至小倉

佐井川

山国川

金華山



鈴熊寺

壺神社

土屋神樂

113

吉富

中学校

吉富

小学校

吉富

駅

あいあい

セシター

吉富

町武道館

吉富

フォーユー会館

108

至大分

吉富

駅

子育て

支援セシター

吉富

町体育館

吉富

町役場

よしとみ

憩いのやかた

113

至中津市

吉富

南

駐在所

吉富

こどもの森

(幼稚園・保育園)

天仲寺公園

吉富

町役場

よしとみ

憩いのやかた

篠塚古戦場

JA

ふれあい市

河川敷

運動公園

113

上毛町

吉富

南

駐在所

吉富

こどもの森

(幼稚園・保育園)

天仲寺公園

吉富

町役場

よしとみ

憩いのやかた

113

至豊前市

相撲を  
とる町  
神様が





### 近郊案内



福沢諭吉旧居(国指定史跡)(中津市)  
Yukichi Fukuzawa former residence



青の洞門(中津市)  
Aono doumon



求菩提山(豊前市)  
Mt. Kubote



町の木(もくせい)



町の花(さつき)



吉富町役場産業建設課

〒871-8585 福岡県築上郡吉富町大字広津226-1  
TEL 0979(24)4073 FAX 0979(24)3219  
URL <http://www.town.yoshitomi.lg.jp>  
E-MAIL [info@town.yoshitomi.lg.jp](mailto:info@town.yoshitomi.lg.jp)